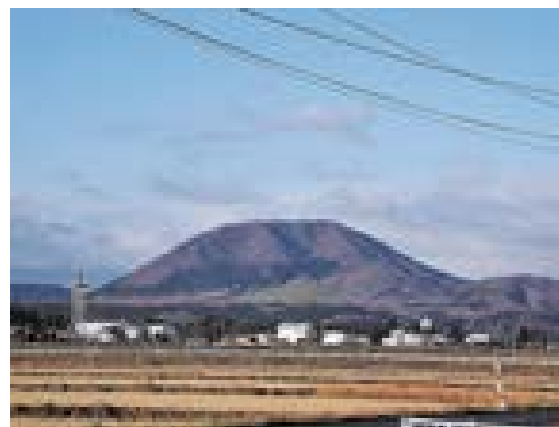


小野田中

統合後も伝統を受け継ぐ



これがイチオシ

観光スポットたくさん

小野田中学校から見える薬菜山のふもとには、観光スポットがたくさんあります。季節のイベントや、飲食店では地元食材が食べられます。

長い歴史を持つ薬菜神社には、お参りしたら難病が治ったという言い伝えもあります。2年に1度開催される「かがり火神楽」では、加美町の伝統芸能「三輪流神楽」が演じられ、とてもかっこいいです。

さらに大崎耕土が見渡せる山頂から見る日の出はすてきです。帰りは、薬師の湯で体を温めてください。

学校名 加美町立小野田中学校
所在地 宮城県加美町中原23の41
創立 1987年
電話 0229(67)7100
校長 小野寺 英一
生徒 146人

小野田中学校は、薬菜山(553m)のふもとに自然豊かな場所があり、四季折々の田園風景を楽しむことができました。創立35年を迎えましたが、小野田中としては本年度で幕を閉じます。4月からは、宮崎中と統合し「鳴峰中学校」として新たなスタートを切ります。閉校を前に、私たちはタイムカプセルを埋めたり、全校での写真や動画を撮影したりして、思い出を残す準備を進めています。

小野田中として活動できる時間が日に日に短くなっていきます。鳴峰中に生まれ変わった後も、「自分から進んであいさつする」「行事には団結して取り組む」という小野田中の伝統を受け継いでいきます。

本年度で閉校歴史に幕



小野田中の閉校を前に、思い出の記念動画を撮影する生徒たち

編集委員 一條風歌、内出愛里、小山奏多、小松大和(2年)
指導教員 鈴木若菜

わが校わがまち スクール通信



次回は 栗駒南小(栗原市) 吉成中(仙台市)

6年生振り付け 踊り練習

杉の入小



これがイチオシ

県内小で1番広い校庭

杉の入小学校の校庭は、県内の小学校の中で1番広いです。面積は約2万2500平方メートル。楽天モバイルパーク宮城のグラウンドが約1万2800平方メートルなので、広さは約2倍です。

休み時間には、サッカーやドッジボール、鬼ごっこなど、1~6年生みんなで遊ぶことができます。

校庭には、国の天然記念物の塩釜桜が植えられています。春には咲き乱れる花、夏には青々とした葉、秋には紅葉、冬には雪景色と、四季折々で姿を変える校庭も楽しめます。

学校名 塩釜市立杉の入小学校
所在地 塩釜市杉の入1の19の1
創立 1977年
電話 022(364)9440
校長 一條 良介
児童 504人

「塩釜みなと祭」で披露

杉の入小学校では、楽しい行事がたくさんあります。中でも「塩釜みなと祭」は特別で、市内の小中学校ごとに踊りを披露する陸上パレードは盛り上がりがあります。祭りは1948年に始まりました。新型コロナウイルスの影響で、一時中断しましたが、昨年7月に3年ぶりに開催されました。

杉の入小では、6年生の実行委員が振り付けを考えます。先輩方から引き継いだ踊りを少しずつ変えてきました。今年のテーマは「低学年から高い出になりました」。



パレードで元気いっぱいの踊りを披露する子ども

編集委員 小野純希、小笠原亜季、其山誠志、大友碧清、細谷陽樹、高橋壮介、神崎心緒(6年) 指導教員 相沢龍